

今年で3回目の宿泊を受けていただいた豊川ビジネスホテルの社長さんに感想を寄せていただきました。

アセアン青年をお泊めして

豊川ビジネスホテル 鳥山 敏

今年も豊川市へ青年招へい事業の研修生が来られ、私どものホテルをご利用いただきました。今年で3回目です。当初はいろいろ不安ばかりでしたが、関係の皆様のおかげもあり、楽しく仕事をさせていただきました。彼らに接したことを感じるままに書かせていただきます。

ホテルの滞在は、長くて1週間程です。青年の皆さんにどうやって快適に過ごしていただくか、どうもてなせば喜んでもらえるのか、といろいろ考えました。しかし、私たちは家族で経営していますので、そこを青年たちに知っていただき、当ホテルの“心”を感じてもらえれば良いな、と考えました。

最初に私はあいさつで「家族で営業しているホテルです。お困りのことは何でも気軽に言ってください」と言うことにしています。研修生たちには、家族的なホテルということを感じていただき、一安心していただけるようです。

短い滞在期間とはいえ、研修スケジュールは毎日びっしりです。一日の研修が終わって疲れているのかなと思いきや、さにあらず、それからの時間が彼らの大切な自由時間です。「自転車貸してください」と言う人、数人のグループなど、早速外出する人が大勢います。不思議に思うことは、初めての地でも何の質問もなく外出していきます。迷ってしまわないかと心配しますが、おかげで



今年の研修生と一緒に。右端が筆者の鳥山さん。

何らトラブルはありませんでした。さすが国を代表してきている優秀な方々ばかりで、積極的に日本を吸収しようとする態度がよく分かりました。私が大変感心させられたことです。

皆さんの性格は明るく、フリールームで歌ったり、談笑したり、中には深夜まで楽しんでいる方がいました。朝の早い方もいました。「おはようございます」と日本語であいさつしてくれましたが、こちらは反対に「グッドモーニング」と英語になってしまいました。実は1階の大浴場に毎朝入浴された方がいました。きっと広い風呂を気に入ったのでしょうね。

食事の担当は女房です。朝食のメニューは、それほど難しさはないのですが、夕食については一品一品の食材と味付けをいろいろ考えていたようです。そのせいか比較的好評でした。しかし、本音を聞きたいのが人情です。「ちょっと甘いけどおいしかったです」との返事で一安心したしいです。それと日本食の食材で一番の不人気は納豆でした。どうも臭いがダメのようでした。でも過去に確か一人食べられた強者がいたような気がします。

実は私は簡単な英語しか分かりませんので、通訳さんの手を借ります。そこで毎回感じるのは、かなりのことは手振り、身振りを通じることです。言うことは文化、言葉が違ってても、地球は一つの精神で接すれば、どんな人とも分かりあえるのです。私どものホテルもときどき外国人のお客様がいます。でも、こんなに大勢の外国の青年のお世話をすることはありません。毎回貴重な体験をさせていただき感謝しておりますとともに、楽しみにもしています。このような機会を糧にして、私も日々精進したいと思っています。

**旅の楽しさ
アレンジ!!**

国内旅行は **赤い船** 海外旅行は **MACH**

国内350・海外37のネットワーク

日本旅行 豊橋支店

運輸大臣登録一般旅行業第2号

ご旅行のご相談は、お電話でお気軽にどうぞ

55-2710
(0532) **54-3261**

営業時間 月～金曜 10:30～19:00
土曜日 10:30～16:00
定休日 日曜・祝祭日